

# 遺伝カウンセリング実習におけるログブック 及び遺伝カウンセリング記録の作成について

201703 改定第 1 版

## 【様式 gc-rgc-1】 ログブック

- 養成課程の「**遺伝カウンセリング実習**」において経験した**すべての事例**について記入してください
- 事例番号は、1 から始まる通し番号を振ってください
- 各養成校にて独自の事例番号がある場合は、備考欄にその番号を記入してください
- シートは保護されているので、列の幅を変えることはできません。行の高さは変更することができます
- ページ毎に認定養成課程の指導教員の署名（簡略化したサインでも可）または捺印が必要です

## 【様式 gc-rgc-2】 遺伝カウンセリング記録

- 【様式 gc-rgc-1】に記載のログブックより **20 事例**を選んで記入してください
- ログブックに記載した事例の中から 20 事例を選択する場合には、全ての領域を偏りなく選択すること。具体的には、周産期領域、小児領域、成人領域でそれぞれ 2 事例以上を選択すること
- この遺伝カウンセリング記録においては、同クライアントの複数回の遺伝カウンセリングの場合は、1 事例としてまとめてください（ただし同一家系で、別に異なったクライアントの遺伝カウンセリング事例の場合は、別の事例として記載してください）
- シートは保護されているので、行や列の幅を変えることはできません。このページ内に収めてください
- 事例番号に関しては、【様式 gc-rgc-1】ログブックの記載の番号と必ずリンクさせてください
- 事例毎に遺伝カウンセリング担当者、スーパービジョン担当者の署名（簡略化したサインでも可）または捺印が必要です

## 「遺伝カウンセリング記録」に関する注意

- 【様式 gc-rgc-1】ログブック及び【様式 gc-rgc-2】遺伝カウンセリング記録は、認定養成課程において行った遺伝カウンセリング実習記録作成のための書式です
- 受験の際には、本書式を用いて遺伝カウンセリング実習についての申請を行います。他の書式では申請できませんのでご注意ください。すなわち、各養成課程独自の遺伝カウンセリング記

録を作成している場合でも、内容を本書式にあわせて記載し、それを提出してください。

- フォントサイズは8ポイント以上で記入してください
- 家系図の記載は、世代番号、個人番号も含めて標準的な記載法に則って記載してください
- 家系図が四世代以上で欄に収まらない場合は、家系図欄に「別紙に記載」と明記して、別紙を添付することができます
- 家系図が両親と本人（トリオ）のみの場合は、その理由を明記してください
- 「遺伝カウンセリングの内容」は、欄上方の指定された項目が含まれていることが必要です。なお、欄上方の指定された項目部分は、記載スペースの確保のために消去してもかまいません
- 「遺伝カウンセリングの内容」の(7)は、スーパービジョンを受けた事例の場合に記入してください
- 遺伝カウンセリング担当者、スーパービジョン担当者の署名は、どちらかが必須になります。  
注：遺伝カウンセリング担当者とは、当該遺伝カウンセリング事例を担当し、かつ学生に指導をおこなった認定養成課程の責任者を含む教員、実習施設における臨床遺伝専門医、認定遺伝カウンセラー。スーパービジョン担当者とは、当該遺伝カウンセリング事例に対して、スーパービジョンを担当した認定養成課程の責任者を含む教員、実習施設における臨床遺伝専門医、認定遺伝カウンセラー。
- Mac をご利用の方は印刷の際に、1 ページに収まらない場合があります。その場合はレイアウト→印刷→倍率 90%に設定すると、問題が無いようです